

【工業：電子機械科】

平成 25 年度

指導と評価の年間計画（シラバス）

盛岡工業高校 全日制課程

教 科		工業技術基礎	単位数	3	学科・学年	電子機械科・1年	担当者	電子機械科職員					
使用教科書		工業技術基礎 実教出版			副教材	なし							
到達目標（具体的な取組【評価規準を念頭に置いた指導上の留意点】） 工業に関する基礎的技術を実験・実習によって体験させ、各分野における技術の興味・関心を高め、工業の意義や役割を理解させるとともに工業に関する広い視野を養い、工業の発展を図る意欲的な態度を育てる。 ・身近な製品の製作から工業技術への興味・関心を高めるようにすると共に、工具や器具の取り扱い扱い、また、それらを用いた加工及び機械や装置類を活用した加工を体験させる。特に安全作業を徹底させ、服装面や規律を正し事故防止に努めさせる。										評価の重点			
学期	月	実習名（班別）			主な学習活動・評価のポイント		評価方法		関心・意欲・態度	思考・判断	技能・表現	知識・理解	
前期 中間	4	電気工事 1 屋内配線基礎知識 2 単線図・複線図 3 器具の接続 4 電気配線工事			・実習への取組状況、意欲的な実習態度、レポートの書き方、実習内容の把握・理解度により評価		実習態度		○	○	○		
	5	電子回路Ⅰ 1 基本知識 2 パターン図の製作 3 基板の焼きつけ 4 基板の穴あけ					実習意欲		○		○		
	6						レポート提出		○		○	○	
前期 末	6	普通旋盤Ⅰ 1 基本操作・切削準備 2 端面削り 3 端面削り・心立て 4 外丸削り					作品			○	○	○	
	7	電源回路Ⅰ 1 基本知識 2 部品のはんだ付け 3 電線のはんだ付け 4 材料取り											
	8												
	9												
後期 中間	9	リレーシーケンス 1 基本論理回路 2 自己保持回路・インタロック回路 3 タイマ回路			・実習への取組状況、意欲的な実習態度、レポートの書き方、実習内容の把握・理解度により評価		実習態度		○	○	○		
	10	電子回路Ⅱ 1 部品のはんだ付け 2 制御プログラム 3 動作プログラムの作成					実習意欲		○		○		
	11						レポート提出		○		○	○	
学年 末	11	普通旋盤Ⅱ 1 ノギスの取り扱い 2 外丸削り 3 段付き削り					作品			○	○	○	
	12	電源回路Ⅱ 1 ケースの穴あけ 2 ケースの曲げ加工 3 組立											
	1												
	23												